

作品展  
◇4月20日から25日、  
で。「元氣な心と体のた  
めの気・ツボ・癒し」。

出雲  
第36回声に出して読

出雲一中合唱部・吹

会  
縁支部体験会&練習

月19日午後2時から管  
理講習会。問い合わせ

1111  
ミネハハコンサート

ポール出雲クリニック  
の高橋幸男さんが講  
演。参加無料。問い合  
わせはエスポール出  
雲クリニック(電話0  
8553・21・9779)  
まで。

# 尼子氏と「尼子十旗」

## くにびき24旗の会

(3)

題字 藤岡大拙

ついで。

### 【城の沿革】

#### 1. 築城の要因

白鹿城が位置する法吉郷は、宍道湖の北岸に位置する。美保関及び中海の水運を押さえる商業経済の要衝であり、尼子氏に重要視されていた。当時の宍道湖には、大きな船も出入りし、日本海の加賀、島根町大芦(おわし)の港にも通じるルート(七田越え等)からも物資を運び入れることができた。飯梨川の中流域に位置する月山富田城に比べて、大量の物資を運び込むことができる水上運送の確保は、存続の鍵を握るものであり、白鹿城が兵糧線の要であった。

本丸を防御する各城砦は、東方に常福寺の谷を挟んで普門西堂の砦・常福寺丸をはじめとして、各山の頂にあった。

小高丸は本丸の西方にあり、白鹿城の最も重要な城砦である。その大手口は、東生馬町に字名として残っている大門・姫御前にあつたと思われる。ここから登城して田中谷の上に出る城道を上れば、平地の峰続きの端にある小高丸に着く。小高丸は、地勢上から見ても本丸と谷一つ隔てた最も近いところであり、兵糧も馬にて直接に運び込むことができる城道があり、井戸がある場所と連なっている。

大高丸は、生馬の最高峰である清水峰につくられた十間に五十間の削平地にあり、小高丸の防御と上講武の七田集落からの七田越しの兵糧運搬の守りであつたと思われる。

大黒丸には、数か所の平地があり白鹿城の中核部であつたと思われる。

路を北に約2キロ走ると、真向かいに真山(256)が独立して見える。その南方約1キロに本丸が位置するが、小高丸、大高丸の方が高いため判別

白鹿(しらが)城は、他の城が在地領主の居城であるのに対し、尼子の戦略上の出城の観があり、唯一城名と城主名が違っている。

城は、松江市の中心から北方4キロ、島根半島の山脈にある白鹿山(149・8竈)に築かれている。尼子氏の歴史を記した「雲陽軍實記」の中には、「惣じて尼子旗下にて祿の第一は白鹿なり」とあり、三沢、三刀屋等の有力国人を差し置いて掲げられている。本丸、小高丸、遍照寺等を含む一連の城砦で構成されている。国道9号からくびき大橋を渡り、直線道

## 「白鹿城」上

白鹿山



東生馬町の生馬神社付近から白鹿城を望む

### 2. 城の特徴

白鹿城の築城は、1558年〜1569年と言

われているが、不詳である。形状は中世特有の山城である。本丸に石垣は無いが、頂上から宍道湖が一望の下に見え、眺めは実によい。

次回回は「白鹿城および松田氏の変遷」と「城の現状」です。

特別展講座3「延享度の喜多田重信仰」  
◇4月23日午後1時半から、県立古代出雲歴史博物館で。國學院大學教授の西岡和彦さんが講演。無料。申し込みは同館(電話0853・53・8600)へ。

特別展ギャラリートーク  
◇4月23日の午前11時から、県立古代出雲歴史博物館で。特別展チケットまたは年間パスポートが必要。

第2回野見宿禰わんぱく相撲大会出雲場所  
◇4月23日午前8時から午後6時、出雲大社神苑相撲場で。24日は午後1時から、神門通りでパレードのちしまで

要領  
ツク  
85  
まで

## 日替わり連載コーナー

◇月曜日は島根県立図書館の「おすすめ新着本」紹介 ◇火曜日は石飛榮一さんの「戦後70年 今、伝えたいこと」 ◇水曜日「学芸員日記」を隔週で ◇木曜日は西尾良一さんの「故郷の『学校の木』巡り」 ◇金曜日はくにびき24旗の会の「尼子氏と